平成20年度実績事務事業評価シート

1	R	٠,	_	L	١
	n	~_	_	•	

	十次とり十尺大模争切争未計画ノート						(0)	11)	作成日	3: 平月	成21年8	月6日	
整理番号 01-020301002-01 事業種別					_	般	事業	態様		継続			
事務事業名 戸籍事務					区分	コード		4	含	称			
事務事業名 戸		厂市	精 事 務			会計	1	一般会	計				
		区分	•	コード	名	称	款	2	総務費				
44	24	基本目	祵	0	計画の前提		項	3	戸籍住	民基本台帳費			
総合	前期	巫平口	1示	U	司 四♥ク 刑 延		目	1	戸籍住	戸籍住民基本台帳費			
計画体	基	施	策 2		安定した自治体経営の確立		細目	2	戸籍事	務事業			
	本	ル世					細々目	i					
14 系	計画	1					7						
71	Ι			業 2 公正、効果的な行政運営の確立		で運営の確立		事業の 法令等	√有無	戸籍法			
	事	業期間			単年度 🗸 単年	E度繰返し		引間限定	复数年度	(年度	~	年度)
事業概要 (事業のあらまし)		戸籍法に基づく戸籍情報の管理											
		総合	計画 前期基本計画	町主要事業		担	当部課等	生活福祉部	3	市月	民課		
		「等での 置付け		自主	E的財政健全化計画	基本計画・構想	・新規事	業	担当係	市民窓口係	記力	入者 国分	健寿
正臣 1()				平山	20年度重点事業	<u></u>		一次評価	FT者 (課長等名)	国ゲ	一忠(

1 行動方針 (PLAN)

	13 30/3 M (1 Dilly)							
事								
業目的	意図→目指す状態 (対象をどのよう な状態にしたいの か)	戸籍法に基づく戸籍の適正な管理						
				区分	指標名	単位		
手段 (事業の具体的な				活動	1 本籍数	戸		
P	内容、手順等)	3 HARLAND 1 - 3 - 1 1 7 9 4	}	指標	2			

2 実施 (DO)

○事業費と財源の推移

年度	平成20年度	(決算)	平成21年度	(決算)	平成22年度(決算)	
区分	経費	金額	経費	金額	経費	金額
		(千円)		(千円)		(千円)
	消耗品費	476				
	通信運搬費	25				
	委託料	1, 512				
直接事業費	賃借料	2, 343				
旦1女尹未頁	負担金	2				
	①事業費計	4, 358	①事業費計		①事業費計	
	②人数 (年)	1.00	②人数 (年)		&人数 (年)	
人件費	③平均人件費		③平均人件費		③平均人件費	
	$4 = 2 \times 3$	8, 608	$4 = 2 \times 3$		4=2×3	
総事業費 ①+		12, 966				
	国庫支出金					
	県支出金				\\	
財源内訳	使用料及び手数料	4, 225				
×1 1/1/1 1 1/1/	地方債					
	その他					
	一般財源	8, 741				

○事務事業の実績

		指標名	単位	平成20年度 (実績)	平成21年度	平成22年度	平成25年度 (目標年度)
活動指標	1	本籍数	戸	13854	13860	13870	13900
伯男伯倧	2						

本宮市行政評価システム

3 評価 (CHECK)

【1次評価】

		項	目	区分		選択理由の説明	項目評価
有効	1	目的を達成 (実施方法)	するための手段 は有効か?	✓ 有効である○ やや有効でない○ 有効でない	\Diamond	記録の正確性向上をめざし各種研修会に積極的 に参加をした。	✓ 適切☐ やや不適切☐ 不適切
性	2	活動指標の 況は?	目標値の達成状	✓ 順調である○ やや順調でない○ 順調でない	\Rightarrow	戸籍の各種届出が増加してきている。	
効率	1		業費又は人員に 果は得られてい			窓口対応に時間(人件費)がかかる中、最小限の 人員で戸籍事務の対応をしており、対費用効果は 得られている。	☑ 適切□ やや不適切□ 不適切
性性	2	効率的な方 いるか?	法で実施されて	✓ 実施されている○ やや実施されていない○ 実施されていない		戸籍法の改正やわかりづらい渉外戸籍の届出、長年の経験を要する養子縁組、裁判離婚などは、職場研修で習得している。	
【2次評価】							
	全体評価 意 見						
	□ 適切 □ やや不適切 □ TYPE						

4 評価による行動 (ACTION)

		【1次評価】	【2次評価】			
	今後の方向性	方向性に対する取り組み (課題と解決方法等)	今後の方向性	方向性に対する取り組み (方針の指示)		
2 0 年度	拡大・重点化✓ 手段等の見直し現状継続廃止・休止完了・終了	簡易交付の市民と、時間のかかる相談受付・交付との市民があり、職員対応に時間がかかり、お客様を待たせることが多いため、簡易交付の自動交付機化等の検討が必要。又、補完的業務の委託化も検討肢である。				
/ 19年度	拡大・重点化手段等の見直し現状継続廃止・休止完了・終了		拡大・重点化 手段等の見直し 現状継続 廃止・休止 完了・終了			
18年度	拡大・重点化一 手段等の見直し一 現状継続一 廃止・休止一 完了・終了		拡大・重点化 手段等の見直 現状継続 廃止・休止 完了・終了			